

5月10日(火)、院内会議室にて、かいこのWA!なか ヘルプ部会 共催研修
～誤嚥性肺炎の高齢者 よりよい在宅支援で元気に食べるケアのポイント～ を開催いたしました。
参加者は、119名と大盛況でした。

研修の様子

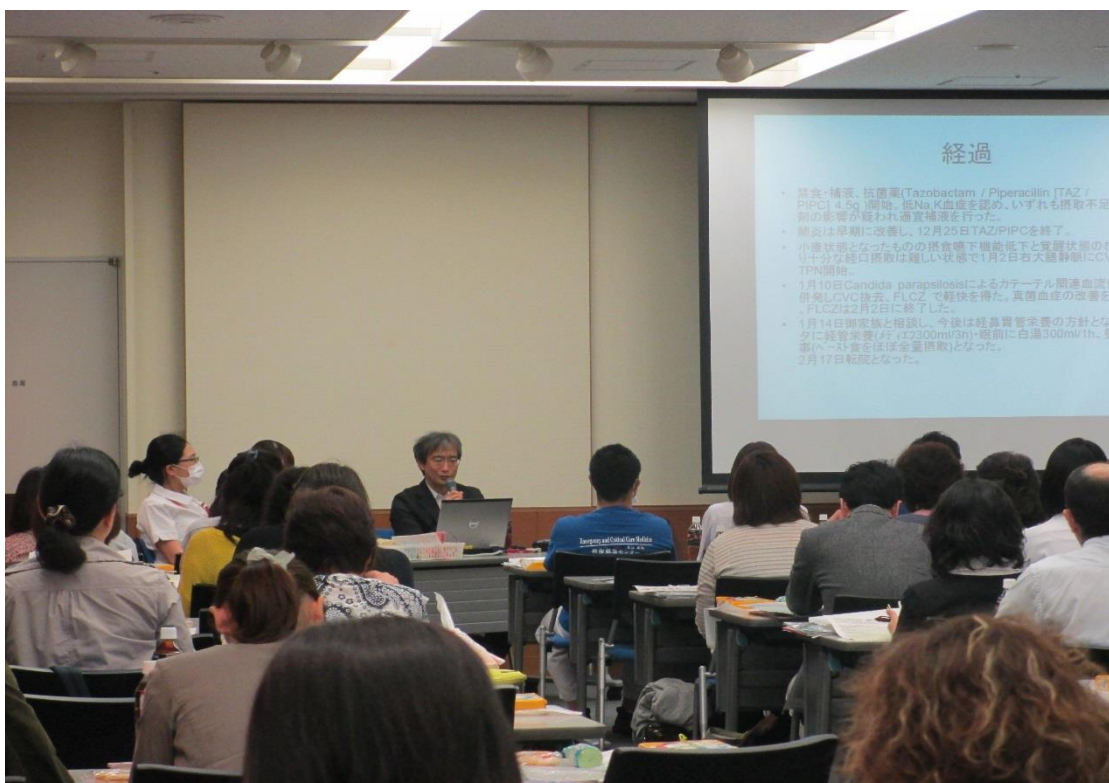
当院歯科口腔外科部長 向山医師より 「お口の管理もケアのポイント」
笹川記念保健協力財団 助成により研修会を開催しています



口腔ケアの理論的背景や口腔汚染の評価などについて



事例紹介



経過

- ・ 消化・吸収、抗菌薬(Tazobactam / Piperacillin [TAZ / PIPC] 4.5g) 開始。低Na K血症を認め、いずれも摂取不足と別の影響が疑われ適宜補液を行った。
- ・ 肺炎は早期に改善し、12月25日TAZ/PIPCを終了。
- ・ 小腸状態となったものの摂食嚥下機能低下と栄養状態のむり十分な経口摂取は難しい状態で1月2日右大腸静脈にCVF挿入開始。
- ・ 1月10日Candida parapsilosisによるカテーテル関連血流感染発症し(CVC除去、FLCZ)で軽快を得た。真菌血症の改善を認め、FLCZは2月2日に終了した。
- ・ 1月14日御家族と相談し、今後は経鼻胃管栄養の方針となり、2月に経管栄養(1日1700ml/3回)・経筋に白湯300ml/1回、翌朝へ→1日量を保ち栄養摂取)となった。
2月17日転院となった。

小野寺歯科衛生士より 「高齢者のQOLを支える口腔ケア」
マッサージ方法について



歯磨きについて



摂食・嚥下障害看護認定看護師 大坪看護師より

「食べられるって、ということ?～食べる体験を通して理解する～」



嚥下の仕組みについて



嚥下食を食べる体験

